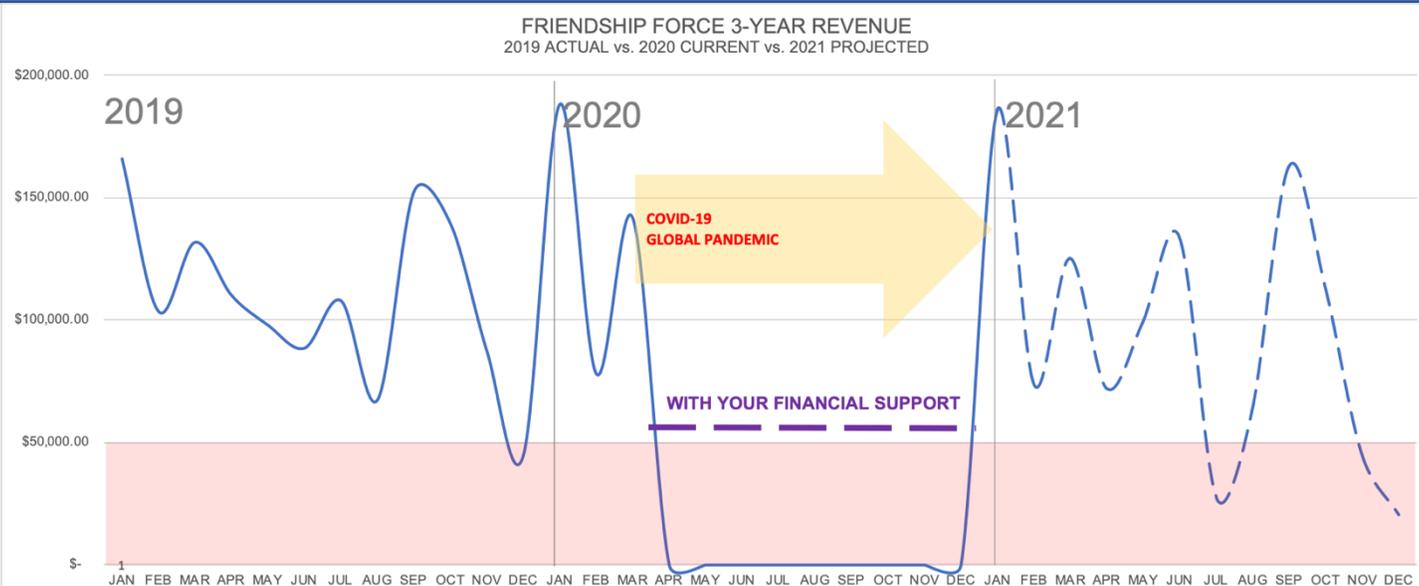


FINANCIAL IMPACT REPORT

IMPACT OF COVID-19 PANDEMIC ON OPERATIONS

April 1, 2020



Unique in the nonprofit industry, Friendship Force sustains itself through fees generated on Journeys. This graph shows the actual revenue by month in 2019, the current projection for the rest of 2020, and 2021 projected revenue. Your support ensure FFI survives the pandemic to serve our clubs and members in 2021.

上の表はFFIの2019年度の月別収入実績と2020年度の見通し及び2021年度の予測を示すものです。2020年度は4月以降12月までFFIの渡航フィーはゼロになると予測し、毎月5万ドル以上の支援が必要になる事を示しています。

一方、FFIは収入のほとんどを会員の渡航フィーに頼っているのです、渡航がなくなればスタッフを維持する為の資金源を失う事になります。

今まで既に147の渡航がキャンセルになっており、更に241の渡航が中止になる可能性が高く、その場合年間収入の61%を失う事になる。

既に実行済みの対策は下記の通り

1. 2020年度後半の経費40%カット
2. スタッフの給与20%カット
3. 全てのプロジェクト中断
4. 不要不急の予約やコストを全て中止

現状におけるFFIの財政状況を要約すれば下記の通りとなります。

- * FFIは年初に年間予算を約106万ドル（約1億1500万円）に設定した。
- * その後、Covid-19がパンデミック化した結果を受けて、上記の4項目の対策を実行に移す事によって支出を75万ドル（約8100万円）にまで削減努力をする。
- * しかし、現状では年間収入は約41万ドル（約4400万円）しか見込めない。
- * その場合、約34万ドル（約3700万円）の赤字となる。
- * FFIの剰余金は現在約30万ドル（約3200万円）。
- * しかし、この剰余金を全てつぎ込んでもFFIは2020年末までに財政破綻する事は明白。
- * この危機的状況を救う唯一の方法は世界中のクラブからの寄付金に頼るしかない。
- * 今や、FFIの存続は各クラブからの支援を得られるかどうかはその命運がかかっています。

FFIジェレミ会長初め全ての理事はこの危機が続いている間は四六時中会員の皆さんからの質問に答えるべく待機致しています。

FFIのウェブサイトのblog.friendshipforce.orgに日々刻々の状況推移が書き込まれますが、このブログで自由に質問することも出来ます。但し、題名の欄に**COVID-19 MEETING REQUESTED**と書き込む必要があります。

COVID-19のパンデミック化が如何にFFIの運営に大きなインパクトを与えるかを理解する事がFFIへの寄付が如何に組織の存続に役立つかを理解する上で重要です。

まだ2020年度の3・4半期に予定されている交流は残ってはおりますが、2021年までにビジネスがある程度正常なレベルに戻らない事は明らかになって来ております。COVID-19の現在のインパクトが世界的に鎮静化した後もしばらくは2021年第一4半期までは会員達は恐らく旅行を控えるでしょう。従って、2020年度の残りの交流はなくなるものと想定して前に進まざるを得ません。

FFIはギリギリの予算で運営されております。私共は1980年代初めの頃から毎年会員の交流によって組織が維持されて来た事を誇りに思っておりますが、旅行業界の変動に極めて影響を受けやすい組織であります。もしも会員が渡航しなければ、FFIはその使命を全うする資金が得られません。SARSや911、H1N1また色々な自然災害を乗り越えて、FFIは何とか生き延びてきましたが、今回のパンデミックはFFIのクラブが存在する全ての国々に多大な影響を及ぼし、最早大規模な経済的打撃から逃れるすべはありません。

FFI本部には15名の献身的で才能豊かなスタッフがおりますが、そのうちの半数はパートタイムであり、世界各地に散らばっています。これは全体として平均すると10.38人のフルタイムにしか相当しません。

FFIは約120万ドルの年間予算で運営されています。その予算の大部分は有能且つ情熱的で忠実な極少人数のスタッフ達を支える為の資金になっています。財政が健全な年には、交流のサポートからクラブ開拓、業務のサポート、マーケティング、広報活動に至るまで全てがこのスタッフ達によって行われております。今回のパンデミックが続く間は、FFの生き残りを図り、2021年以降もスタッフが仕事を続けて行く為のギリギリのところまで、活動内容をスケールダウンしております。

パンデミックの経済的打撃から逃れられる人はおりません。皆さん同様、私達も友情を通して平和を推進する事業を取り戻せるようアメリカ政府の法律による支援を得られる事を期待しています。

2020年度の修正予算では、全てのスタッフと共に一部一時休暇制度を取得するスタッフも含めて20%の給与カットを実施する事になっております。この対策で今から数か月間は何とか運営を継続していきます。皆さんからの支援によって、何とかやっていけるでしょう。

この前例のない34万ドルの世界的キャンペーンはパンデミックが終息し、世の中が今まで以上に我々を必要とする時に「FFIここにあり」と言える事を確保する為のものです。

FFIは全員がFF会員のボランティアである理事11名が見守っております。

理事会の財務委員会は特に今回のような危機的状況の時にも、FFIの継続を維持する為に、年間予算を監視しながら会長と共に努力しています。会長も理事会のメンバーもクラブリーダーや会員の皆さんからのご質問にいつでもお答え出来るよう待機しております。support@friendshipforce.orgにメール下さい。題名の欄にはCOVID-19 MEETING REQUESTEDと書き込んで下さい。

私達は皆さん方からのご質問にいつでもお答えします：

	ORIGINAL BOARD APPROVED	2020 REVISED BUDGET
Revenue	\$1,059,296	\$408,203
Expenses	\$1,059,296	\$750,090
Surplus/Loss	0	\$(341,886)

The campaign to save FFI is based on this revised budget the reduces staff, expenses and operations but ensures FFI will be here when the pandemic subsides.

- * FFI会長のJeremi Snookと役員または会員の皆さんとのミーティングのご要望
- * ブログでFFIからの最新のニュースや通達
- * 理事会メンバーやスタッフとのコンタクト

<よくある質問>

1. FFIは今回のような出来事に備えて内部留保や剰余金がないのですか？

FFIは約5年間20万ドルの剰余金を持っておりました。この金額は収入がない場合にたった2ヶ月間しか運営できない金額です。一般企業の場合は、通常6ヶ月間の剰余金を保有しなければならない事になっております。昨年(2019年)は交流参加が多かった結果、健全な財政を維持し、約10万ドルの剰余金を追加する事が出来ました。残念ながら、この成功もパンデミックの影響でほんの束の間で終わりました。極端な経費削減をしても、FFIの剰余金は5月末まで組織を維持するだけの程度なのです。

2. **FFIの最大の経費は何ですかまたこの危機的状況の中でこれらの経費をどのように使おうとしているのですか?**

FFIは人間で成り立つ業界にあります。そして、私達のプログラムを人々が活用するのを助ける事が仕事です。FFIの最大の資産はクラブやその会員達以外にスタッフです。スタッフがいないければ、現在のような形でのFFIは存在し得ません。FFIのスタッフは一般企業の標準からはかなり低い収入で働いてくれております。アメリカのスタッフについては、最高水準の社会保険より低い水準で我慢してもらっています。会員の皆さん同様、FFIのスタッフもFFIの使命の為に献身的に働いており、この組織が成長する事に情熱的に取り組んでおります。全てのスタッフは20%の給与をカットされ、一部のスタッフは無給の長期休暇に入っております。この厳しい対策はFFIが収入ロスをカバーする目途が立つまで続きます。残念ながら、もしこの状態が続けば、FFIにとっては有能な人材を失い、究極的にはFFIスタッフそのものを失うと言う大きな損失を被る事に繋がります。

3. **FFIは組織の財政状況並びにこの危機の期間組織を守るために取られる諸々の対策に関して、どの程度透明性を持たせるつもりか?**

FFIのスタッフも会長もほぼ90%がFF会員で成り立っている理事会に報告義務を負っています。この組織は完全にボランティアによって運営されている以上、今まで、一度たりとも透明性を欠いた事はありません。ただ今まで言語が英語中心であった為にコミュニケーション不足があった事は認めますが、今後は変更する事を約束します。

この危機が続いている間は私も理事の皆さんも常に皆さんのご質問にお応えすべく待機致しております。どうぞ、いつでもblog.friendshipforce.orgをご覧ください。